



県立海部病院

県立病院基本理念



県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる

CONTENTS

- 1・2 漢方専門外来について
- 3 南阿波総合医・家庭医養成プログラムに参加！
申輝樹医師のご紹介

レポート

- 4 平成27年2月6日発生の地震について
第2回海部病院院内急変心肺蘇生
トレーニングコースを実施しました

INFORMATION

徳島大学医学生による実習報告会



[特集]

症状の発生や慢性化を防ぐ
海部病院漢方専門外来を紹介します！



何気ない症状やささいな症状でも 一度漢方専門外来にご相談ください。

海部病院では平成26年6月から漢方専門外来をはじめ、毎月4回程度、徳島大学大学院の岡崎医師が診察を行っています。そこで、今回は皆さんの「漢方専門外来って何をするの?」という質問にお答えしていきます。

漢方専門外来ってどんなことをするの?

東洋医学の病理概念のなかに未病という言葉があります。病気というほどではないけれど、病気に向かいつつある状態、すでに体調不良がある状態のことです。この場合、検査データでははっきり異常と言いつらく、路頭に迷われる方も多いはずです。また、検査に異常はあるが適当な治療方法がなく、一人問題を抱えておられる方もいると思います。こうした場合、東洋医学の言葉でいう「証を弁つ(検査値にはなりにくい症状を適切に診断する)」ことで、それらに対応した治療法を選択していくことが必要となります。

海部病院の漢方専門外来では、患者様に丁寧に診察を行い、食生活や生活習慣に対する助言を行うとともに、エキス剤等を処方することにより、症状が発症することを事前に予防したり、慢性化した症状の改善に努めています。

漢方専門外来はどんな症状が対象なの?

片頭痛、体の冷え、だるさ、めまいや耳鳴り、月経痛など多くの症状が対象として挙げられます。漢方専門外来という年齢の方や女性の患者様が多いというイメージがあるかもしれませんが、近年、小児期からの鼻炎、花粉症、アトピー、喘息、風邪を引きやすいなどの慢性病は増え続けており、漢方専門外来では、こうした慢性病に対して一時的な対応ではなく、体質改善を目標にした身体の内側からの治療を行っています。

漢方専門外来は老若男女にかかわらず診察を行っていますから、何気ない症状やささいな症状の場合でも、一度健康相談にお越しいただければと思います。



漢方専門外来 岡崎 弘泰 医師

2014年から当院勤務
徳島大学大学院呼吸器・膠原病内科学分野在籍

コメント

「漢方医学を日本の医学として普及させていきたいです。そのために、地域での生薬栽培を産業にし、若い世代から経験豊富な方まで雇用できる体系づくりが必要だと考えています。」

漢方専門外来について

- 診察日時 毎週金曜日 午後13時30分～
- 受付時間 午後12時30分～午後15時
- 場 所 海部病院1階 内科外来1診

※初診の場合は予約不要です

- お問い合わせ先
漢方専門外来 **0884-72-1166**(代)

南阿波総合医・家庭医養成プログラムに参加！ 申 輝樹医師のご紹介

海部病院では、総合診療医を育成する徳島大学大学院の「南阿波総合医・家庭医養成プログラム」を活用し、若手医師のキャリア形成を応援しています。

このプログラムでは、患者中心・家族志向の医療を提供する能力を養い、日常の様々な健康問題を扱う家庭医に必要な専門各科のプライマリケア領域の診断能力を身につけることができます。

今回は、同プログラムを活用し、海部病院で診療に取り組んでいる、神戸市出身の申輝樹医師をご紹介します。

プログラムに参加したきっかけは？

2011年に兵庫医科大学を卒業後、初期研修医として兵庫県の病院で勤務しました。後期研修の選択にあたり海部病院を訪問した際に、総合診療医の田畑先生から話を伺い、「患者の不安を取り除くことができて内科や外科など何でも診られる田畑先生は自分の理想像」と感じて、海部病院でのプログラムに応募しました。

海部病院でのお仕事は？

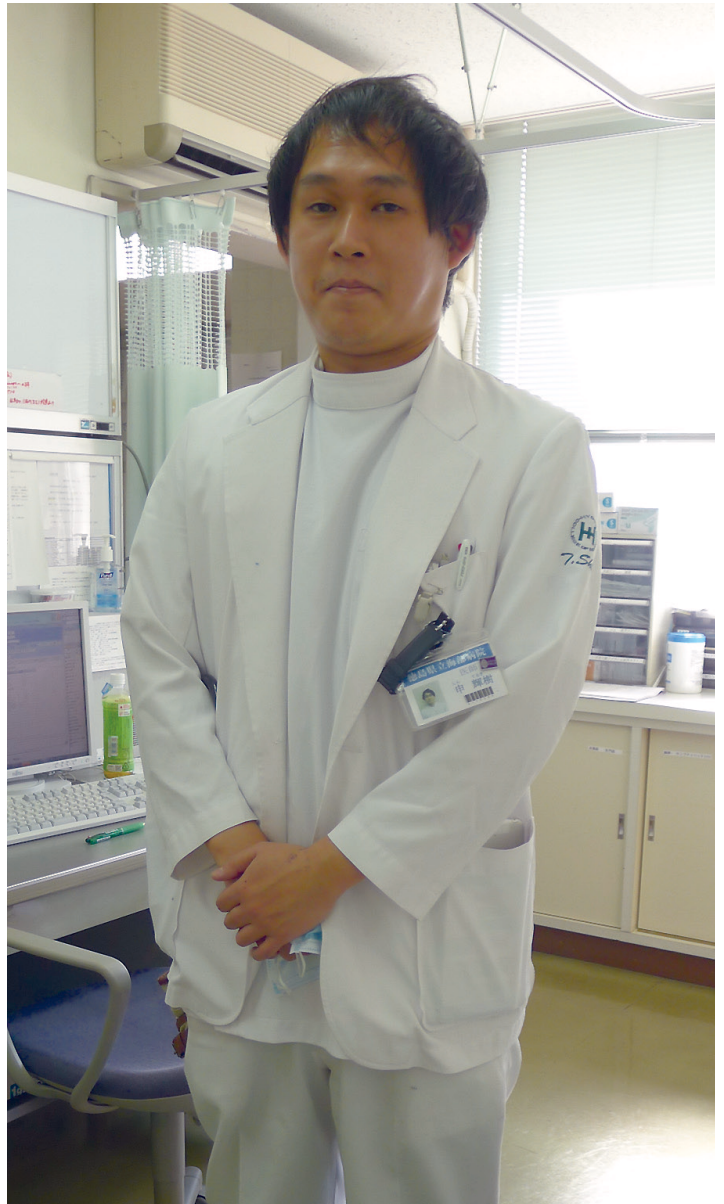
外来診療や救急治療、手術等を経験しながら総合診療の技量を磨いています。また、訪問診療も定期的に行っています。医療スタッフや、地域医療を守る会などの住民の皆様を支えられながら、集中して診療に取り組むことができます。

嬉しかったエピソードは？

病気の早期発見・早期治療に結びつけられたときはいつも嬉しいですね。また、他院での事例ですが、患者さんが心筋梗塞で心停止の際に、心臓マッサージにより蘇生させることができました。現在では元気に生活をされているということで、本当に嬉しく思っています。

このプログラムへの参加を検討している研修医の方に一言お願いします。

患者さんの症例は多岐に渡っており、やりがいを感じる職場だと思います。また、「仮に孤島で医師が自分一人だけだとしても、対処できるようになる。」といった自信が身につけていきます。今はまだ周囲の先生方に支えて頂いている状態ですが、いずれは多様な分野に精通した総合診療医になりたいです。



内科・総合診療科 申 輝樹 医師

兵庫県神戸市出身・2014年から当院勤務

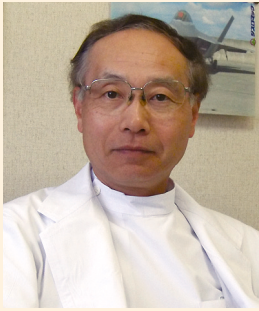
●趣味：ギター ●特技：卓球

南阿波総合医・家庭医養成プログラムの概要

- 応募資格： 初期臨床研修(2年)を終了した医師、又は終了予定の医師
- 研修期間： 3年間
- 研修の目標
全人的診療能力と地域包括ケア能力を身につけ、地域の診療所や中小病院で第1線の医療を行うことができるようになること
※その他詳細は海部病院HPをご覧ください。

病院レポート

平成27年2月6日発生の地震について



海部病院長 坂東 弘康

平成27年2月6日午前10時25分ごろ、徳島県南部でM5.0の地震が発生し、海部病院のある牟岐町では、震度5強の揺れが観測されました。

今回の地震では、当院でも一時は外来患者様の階上への避難誘導を行いました。患者様の安全確認や設備の動作確認等を行った後、通常どおり診療を行うことができました。

さて当院では、南海トラフの巨大地震への抜本的な対策として、高台移転事業を進めており、南部総合県民局の手で進められていた用地造成もようやく完了し、いよいよ本体工事を待つばかりとなっています。牟岐町、南部総合県民局をはじめ関係機関の御努力と周辺住民の方々の御理解に感謝申し上げます。また、こうしたハード面の充実に加えて、防災訓練等を継続的に実施することにより優れた防災人材の育成を図り、県南地域の皆様の命を守る「先端災害医療拠点」としての役割を果たしていきたいと考えています。

第2回院内急変心肺蘇生トレーニングコースを実施 心肺停止から蘇生後まで一貫した標準的な蘇生処置を学ぶ！



2月2日に医師、看護師、救急救命士等による、平成26年度第2回目となる院内急変心肺蘇生トレーニングコースを実施しました。

このコースでは、AED(自動体外式除細動器)や電気ショックの施行方法、薬剤投与、心電図波形の理解等について学ぶとともに、実際の現場を想定したシミュレーション実習を繰り返し、蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療に取り組みました。



▲ 二次救急処置を行う受講生



◀ 医師、看護師、救急救命士等がインストラクターを務めました



◀ 海部ICLS認定書が授与されました

INFORMATION

徳島大学医学生による実習報告会



海部郡で経験した実習内容や感想について住民の皆さんに報告します。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

- 日 時：平成27年 5月1日(金)、6月12日(金)、7月10日(金)
午後1時30分～3時30分
- 場 所：海部病院厚生棟 2階会議室



発行・お問い合わせ

発行日 平成27年4月
徳島県立海部病院広報委員会
〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村75-1
☎ 0884-72-1166(代) FAX.0884-72-3521
HP:<http://133.242.186.80/>

海部病院

検索

